夕刊 磐城新聞
十二月六日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料金 普通欄金六拾錢 特別欄金九拾錢（五號十二字詰一行一回）（場所指定一行二錢增）
編輯兼印刷發行人 柏木衛 福島縣石城郡平町字町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
振替口座（タイライワキ） 平局私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

好間の炭鑛研究
發達史と現狀及將來
吉川生

（23）

七、結論

1、好間村の炭坑系統

斯くして當村炭坑の發展系統を見る時に、明治維新前は多少の採掘はあつたが尚發見時代の黎明期であり明治十三年頃より法令に準據した所有權を示す樣になつて明治二十二年より專業經營の採炭稼業が行はれ幕末以後中絶した舶（現元山炭鑛地域）沼平（現津川炭鑛地域）が再興され、更に下ケ屋敷（一板木澤炭鑛地域）（後の平炭坑地域）坑が現れた。之等の經營は明治卅七年頃より相當大規模の構成を有し、明治四十年頃は、平、津川、隅田川、中根の四炭坑となり、大正の好況時代には福寶、平、元山地域、隅田川、中根等の大坑を數へて殷盛時代を現出し、更に昭和の不況による整理期になつて、古河、小田、萩原、隅田川の三炭坑に統一されて現在に及んでゐる（別表參照）

商圏の方面からは、東日本の南部をしめて常磐炭商圏と殆んど一致し、北半は北海道炭、南半は九州炭、撫順炭と交錯し狹搾された中にあつてよくその地理的好位置と特質の關係とから現在の地位を保ち將來尚數十年の操業能力を有するが防水及水揚の費用と炭層の深くなると共に採掘費は益々嵩むために經營は困難になる狀態にある

各坑の一人當りの出炭量の如きも年々増加してるがまだ〳〵世界各國から見れば良好とはいはれぬ、第八圖表にあつて日本の一人一日採炭量が如何に少いかが分る、當村三炭坑平均は幸にベルギーよりはよいが日本平均にも及ばず、然も常價がそれより安いから全く困難といはねばならず、機械使用の模範坑としての古河坑が〇、七八で之を凌駕してゐるに過ぎない。此の點考慮すべき問題と思ふのである

恁うして當村の炭坑の現狀を見更に將來を思ふ時種々なる障害を驅除し能率を增進する事に於てまだ〳〵改良の餘地のある事である

一方地方民も炭坑に對する誤まれる自主的な利己主義思想や舊迷思想を捨てゝ共に〳〵融和協力して互惠的獸契をなしあく迄も共生共死の位置に立つて限りある地寶の運用に萬全の策をつくしたいと思ふ、幸に炭坑は地方に對しては相當の考慮をなし、地方人の使役も物産の購入も望んでゐる共に〳〵胸襟を開いて眞の郷土愛の心情を以て接し行く事によつてこそ此の目的は達成せられるのではあるまいか。吾人はかくして炭坑村としての好間村の炭坑による眞の美しい眞の發展を祈つて擱筆したいのである。（了）

磐新歌壇
小山田滋選

ひげそり 青山貞三

○山茶花の葉裏に露の光り見せ朝の時雨の一しきり降る

○ひげそりの朝の鏡に息かけて今日の日課の生活始まる

○晩秋の空は眞澄みに澄みて居り男世帶の漬菜漬け込む

○ひたむきに爭ふことのあるときしわが青春の張を見するなり

○石炭酸の匂ひたゞよふ病院の待合室にかるくしはぶく

潮聲硯靜抄帳
十月集

名月 互選 ○高點句

名月や瓶の芒に虫の來て 石城
名月や虫糸ひかる芒原
たまゆらの風の蓮田や月今宵
名月のひかりころがる磧かな 芳月
名月の甍をあざむく湖上かな
○名月の淺瀨にひかる小石かな
消灯喇叭冴ねたる良夜哉 秀勝
名凪に澄みたる空の深さかな
曇月の出でたる芒端山かな
○月今宵名所を語るラヂオ哉 晩霞

台灣の市街見物
上
伊東一

台南にて

滿鮮を廻つて九州を歩いて居る中に偶然台灣行きになつてしまつた

都里にあつてもよく新聞で見る六大都市以外に關門附近の各都市は炭坑と船便を通じて工業を發達せしめ北九州の偉容を形勢して居る近々數里の間に下關門司小倉戸畑八幡若松直方飯塚の各市が殷賑を極めて居る然しそれ程に內地に於て發展したる否しつゝある都市にしても日本南端の一都市台南の現下の躍進振りは想像の外である

台南は台灣でも南に位して居る處とて市街と云つても台北程でもないと思つた勿論人口も半分位だから然し何と云つても台南は台灣に於ける舊都丈に寺の數も眼に付く程だ、舊都と云つても滿洲で見た樣な舊式た支那市街、そこに巍然として近代的樣式を備へた大建築が街の辻に彼所此所に發へ立つて居る、それが茲一二年で出來た樣に新らしい想だから一見東京の震災バラックに新建築が出來て來た時の樣な感じがする、銀座通り台南淺草等と云つて規模こそ小さいが立派な建物の中に相當賑ひを見せて居る。滿洲と違つて土民は安心して何れも（匪賊等の心配なしに）家業にいそしんで居る。臺南ばかりでない臺灣の各都市には立派なる一寸劇場見た樣な大建物の中に市場が設けられて居る。青物、乾物問屋、魚屋何れも十軒以上軒をならべて客を呼んで居る、其周圍に赤飲食店雜貨洋物商等軒をそろへて居るから大デパート同樣賑はつて居る。內地各市の小賣商人等見習つてもよい事と思ふ、臺南淺草も要するに其市場なのだ臺北の西市場をも見たが新竹にしろ基隆にしろ市場は大同小異で其繁昌に變りはない

玩具
村岡融

幼い時、オモチャの無かつた
悲しみは
もうすつかり忘れてしまひました
だから私は今
いゝオモチャを澤山持つてることを誇りにもしてゐるし
『コレハワタシノポチデス！』とお腹へ書いた犬を木製の機關車へ乗せて机の上をアッチコッチ走らせて
遊んでることに、此の上無いよろこびを感じてゐるんです

12月7日

△崇德天皇譲位（永治元）△官吏恩給令を制定す（明治十七）△臺灣南部强震死傷者七名（昭和五）△聖上青森北海道の凶作地へ侍從を御差遣あらせらる（同六）△陸軍定期異動發表（同七）

社會の今日

○

巖頭に陽を打ちあげて冬の浪 杉也

打ちわたす冬田の中の藁鴉に、朝霜白し鶉むれつゝ 横田葉子

講談

幕末神風組
（75）土生太郎作 高根秀浩畫

重なる危難（二）

虎口から救けてくれた恩人と思つたは、神風組の人であつた。染香のよろこびも束の間、又も奈落の底へつき落されて了つた。しかも今度は兩國安が情とは事違ひ相手が更に惡かつた

『奇遇だ、こんなところに染香が居ようとは夢にも思はなかつた、全くこれぞ天の配劑だ』

何が天の配劑だ、今こんなところで私がつかまるなんて、天道さまは餘りに無慈悲だ——染香はじり〳〵と胸を惱ませてゐた

もう此の期に及んでは逃れる事の出來ない事はよく判つてゐた。判つてゐながらも何んとしてゞも逃れなければならぬ自分であることを染香はよく知つてゐたそして……

染香はじつとして動かなかつた、眼をつむつてゐた

『はゝゝゝ、すつかり往生して了つたと見える。流石は榎本等の手先になるほどの女だ、その點大いにほめて遣はす』

そんなことに耳を傾けてゐる染香ではなかつた。染香は靜かに考へてゐた

不思議なもので、人間これ以上どうにもならぬ、これが最後のどんづまりだと思うと、妙に心が落ちついて來るものだ。どんなにヂタバタしたところで仕樣がない、結局は破滅なんだと間をおちつかせるものかと忍はれるほどである。染香が恰度それである

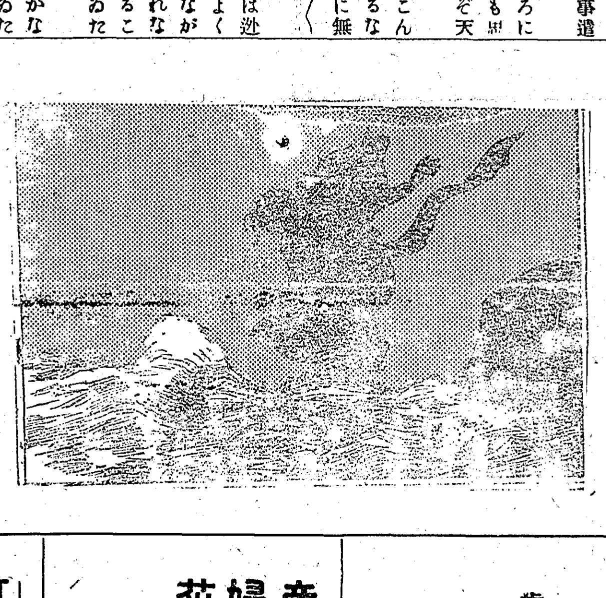
もう駄目だ、いやでも應でもしよつぴいて行かれるのだ。再び神風組へ連れて行かれたら往生、あれだけ焦え湯を呑まして來た自分だ。殺される事は定まつてゐる、それも慘忍な人達だなぶり殺しにされるのは火を見るよりも明かだ

彼女の腦裡には嘗て佐吉親分が、御木本のためにひどく責められた時の凄絶！慘絶！の光景が手に取るやうにハッキリと思ひ浮べられて來た

『あゝッ』

あまりの恐ろしさに身震ひをした

『あはゝゝゝ、えらく脅え切つてゐるな、そんなに恐ろしいか、いゝよ、いゝよ、何も怖がることはない心配は要らんよ、首領はお前に首だけと來てゐるんだ



お前のその美しい顔でニッコリ笑つて見ろ、大丈夫つてことよ』

野村一衞とふいその武士は姿に似合はずげびた言葉でいつて卑しく笑ひこけるのだつた、それが染香には又耐られぬ程の苦痛である

再びあんな男に媚を見せるのだつたら、此の儘寧ろ死んだが増した。それに今度はいくらあの御木本にしたところで、雷下の手前もある、さう〳〵いゝ顔をしてゐる事も出來まい。その上あの小憎らしい上總屋藤七がゐる、あれだつて私を此の儘にして置くことはあるまい、それに、それに、どんな事があつても一度は『銀月へ歸につて、榎本の前なり淺野さまに逢はなければならぬ自分であるのだ

さうだ、こゝは一つ死んだ氣になつて逃するだけは逃れなければならない

幸ひ、多少は水練の心得もあるのだ、裸で押し切つたら此の流れ、向ふ岸へ渡れぬこともあるまい。それには屈竟のいでたちだ。着てゐた着物はさつき船が顚覆した折、すつかりぬれて今は身輕な此のいでたち、これをかなぐり捨てゝ水に入ることぐらゐは何んでもない事だ

『へゝゝゝゝ、旦那一杯如何で』

此の場の樣子が、自分御有利になつて來たと見てとつたのか、兩國の安は貧乏德利から一杯ついですゝめるのであつた

『いや、これは〳〵』

野村も元來がいける口と見え、さゝれるまゝに茶碗を手にすると咽喉を鳴らして一息に呑むと、その僅かな隙である染香の身体がパッと一飛したと見る間に、ドブン！躍激しい水音があがつて染[illegible]は水中へ。

長唄 花柳流舞踊
御稽古をおすゝめ致します
花柳流舞踊研究所 花柳德三郎 杵屋十茂代
平町田町七二

內臟外科 外科一般 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院

お醬油は……ヤマフル
味噌醬油 たひら正宗 鰹節食料品
鹽屋 磐城縣平町 山崎合名會社 電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町（電話五八番） 藤田女學校前

齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
『入院のお需めに應ず』
鈴木醫院
內郷村高坂磐炭病院前

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡） 電話五五九番

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地 醫學士 山內亨吉
山內醫院 電話六九一番
入院隨意 病室完備

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社平油特約店
關彰商店平支店 電話六一番
本店 水戸線下館驛前（電話五五番）
茨城縣土浦町田宿（電話六五三 八二四）
支店所在地 常磐線關本驛前（電話平潟五四） 常磐線四倉驛前（電話四八）
◇海上給油及油槽所 久慈濱、大津、平潟
營業種目 輕油、揮發油、石油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡摩、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ

恐ろしい疫痢の流行期!!
○毎年六月始めより十月と申します。
○死亡率統計百人中六十五人以上として居ります。
まづ豫防に經口免疫の北里研究所製造疫痢內服ワクチンを
○價格 幼兒一人分 三十錢 大人一人分 五十錢
（文献進呈）
特約店 西村屋藥局 平二・電3

毛糸
今年度新色全部入荷致しました。相變らず御引立の程を。
（色見本帳進呈）
合名會社 ハシモトヤ糸店 平町田町 電話十四番

耳、鼻、咽喉科 氣管、食道科 專門
平町南町（電一〇七番）
大和田醫院 大和田郭司
（自炊の便あり）

耳鼻、咽喉科、氣管、食道科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
増田耳鼻咽喉科醫院 電話四八二番
（入院隨意）

高久病院 平町田町（電話五三一番）
內科 外科 小兒科 耳鼻咽喉科 花柳病科 レントゲン科
醫學士 高久忠 新潟醫學士 赤羽清 藥劑士 佐竹菊雄

屋根材の大王（日の出 太陽印）便利瓦
耐久力優二十ヶ年以上
壹坪葺上八十錢內外
日本建築紙工株式會社 磐城代理店
㊎織田材木商店 平町字紺屋町四〇 電話四六〇番
銘木 ベニヤ板 天井板 建具材 內外木材
建築材料ノ御用命ハ是非當店へ。

眼科專門
院長 醫學士 吉田安雄 吉田久雄
吉田眼科病院
平町紺屋町 電六八番

産業青年を網羅して非常時打開の協議會
けふ知事代理外を迎え 體驗を語る濱三代表

現下の非常時に鑑み一層青年教育の實績向上を期し産業經濟の振興充實と指導相互の連絡統制を計るため今年始めての試みである縣主催濱三郡産業青年協議會は既報の如く今六日午前九時から平町第三講堂に於て學務部長代理水野視學官の如何にして産業開達の實績を上げるか、それは修養ある青年の努力に依るとの意味を含めた開會の辭に次き、國歌合唱、實業振興會地方幹事篠山校長の國民精神作興詔書奉讀、知事代理影山鹿造氏の知事訓話代讀、後各々の尊き体驗、意見發表があり、此に對する盛んな質問等あり出席者産業青年男女各町村學校長等々實に三百餘名非常な盛會裡に午後四時閉會したが体驗談發表は次の如くである

△農家の更生（石城郡渡邊村澤田正幸）△自家の經營（同郡泉村志賀繁）△自力更生十年を顧みて（平町小野誠三郎）△産業の開發（石城郡大野村鈴木虎之助）△水田の二毛作（双葉郡幾世橋村鈴木孟通）△養鷄（石城郡川部村川子浦次）△蒟蒻栽培加工（同郡磐崎村大平義平）△經濟更生に就いて（同郡飯野村鹽貢藏）△多角形農業（双葉郡廣野村新妻孝太郎）△養鷄に就いて（相馬郡髙平村和田義平）△加工の見學と出席（同郡太田村宣山港）△原蠶種に就て（同郡石神村青山市）△農業の改良（同郡新地村森忠雄）△非常時作物に就て（双葉郡龍田村猪狩定雄）△題未定（相馬郡新地村清信正男）

女教員實務講習
愈々あす參加五十名

縣主催實業補習學校並に小學校女教員の實務講習會は明七日から開催されるが今六日迄の申込みは定員五十名の所僅かその半數二十六名で當日になつてからの申込みが殺到するものと見られて居り縣實業補習教育主事景山鹿造氏磐女校長正木貞二郎氏その他の講師を擁して盛會を豫想されてゐる

各濱とも鰯大漁
一箱卅五錢の慘めな暴落

本郡各濱は目下鰯の大漁つゞきで小名濱には連日廿五萬貫内外の水揚げあり到底食糧に過剰を來たし當業者は肥料の製造に多忙を極めてゐる、相場は去る三日一箱一圓三十五錢のものが四日に至り八十錢、五日は卅五錢と云ふ慘めな大暴落を示してゐる

各戸に配る同情袋
町當局と助成會が共力活動

來る十五日より一週間の歳末貧困者同情週間に際し平町役場では昨夜會議室に於て協議の結果大体昨報の如く同情袋を各戸に配付する一方助成會では十五日より四日間左の各區に分けて戸別訪問を行ひ現品の募集をなすと
（十五日）長橋、研町、古鍛冶、紺屋町、材木町、鍛治町、南町（十六日）一、二、三、四、五丁目、新川町、月見町、堤の内（十七日）鎌田、立町、大工町、南白銀、田町、才槌小路、鐵道官舍（十八日）舊城跡、八幡小路、久保町、北目、胡摩澤、北白銀町、仲間町

少年消防隊活躍
平署當局激賞

平署管内に於ける秋季消防檢閲は去月十五日夏井、平を始めとして昨五日永戸村で終了、管内三十三少年消防隊は何れもこれに伍して檢閲を受けたが殊に赤井、好間、神谷の規律訓練には係員も感心して居る、尚磐崎同隊では此程組頭若松總太郎氏が隊旗を寄贈したので檢閲の際に樹立式を擧行する一方全生徒から防火宣傳のポスターを募集盛大な展覽會を開催するなど極めて趣旨の徹底に努めたと

迫る年の瀬
日毎に尖鋭化の歳末商戰街
目當てのボーナスに今年掉尾を飾る

×

歳末氣分は先づ店頭から……カレンダーの剝がれるに從ひ際立つて拶行くやうになつて來た平町の大路小路！！は、33年の掉尾を飾らんとする大賣出しの準備が漸く本格的になつて來た

×

早い話しが各商店を覗いて見ると『まあ、十五日以後ボーナスが出てからです』と景氣は一にボーナスの多寡に支配されると云つた形、買ふ方も賣る方も一齊に歳末戰線に躍り出して掛け聲勇ましく急ピッチを昻げやうとして居る

×

節季の清算を苦に病む主人や幹部級の番頭が、さては白雲小店員に至るまで……日ならずして展開される大賣出しの商戰線に馳せめぐり、思び切つて大割引に顧客を誘致す絶好の餌たる一面持品を現金化する一擧兩得の方法として在庫品の目茶苦茶大廉賣が盛んに行はれて行く

×

驛、局、會社、銀行に、お役所に……ワク／＼するやうな氣分の磅礴する景氣の良いボーナスインフレを當て込んで福引、やれクーポンだ。と拔け目のない商人によつて始められる戰術はこの師走に於て一としほ尖鋭化し來るのだ

×

目まぐるしい歳末狂燥曲に移らんとする緊張した頃日のたひらの街ではある

平マーケットの建物撤去を要求
應ぜねば訴訟提起

平町では町有地の整理に着手し田町三五（現平マーケット跡）百二十五坪を賣却すべく數次委員會を開き希望者と折衝したが現在の建物を撤去せぬ限り買人の方で二の足を踏み容易に賣買成立しないため右建物所有者酒井猶次氏に速かに撤去方を要求して來たが容易に應づる模樣なきため町當局では昨五日附青沼町長の名を以て來る十一日迄に建物全部取拂要求の内容證明を發し應ぜざる場合は直ちに訴訟を起すべく準備中である

手付金詐欺
平署に檢擧さる

當時住所不定無職東京市淺草區神吉町三二生れ會田喜太郎（四二）は去る八月九日澤渡村大字上市萱字須和五四材木商羽石直一（三二）に寫眞器を安價に買求めてやるからと同人を東京迄誘出、手付金として十五圓其後同人より三十圓計四十五圓を詐取し昨五日平署に檢擧餘罪ある見込みで嚴重取調べ中

炎上の閼伽井藥師
見舞信徒で賑ふ
假本堂も漸く落成

炎上した名刹閼伽井嶽は直に本山より馳せつけた旭純榮大僧正の手により復興運動に着手既に數萬圓の淨財が集り過般來工事を進めて居た假本殿も此程竣工したので全國各地からの信徒達と共に極力淨財喜捨募集に當つて居るが一兩日前の水戸方面からの三十餘名を初め昨今では毎日の樣に信徒達の見舞登山で賑ひを呈して居る

旭管長辭職
炎上の自責

赤井嶽常福寺住職で眞言宗知山派管長旭純榮師は過般常福寺炎上の責をひき五日京都本山の宗教局に宛て管長の引責辭表を提出した

宿料踏倒し

田村郡逢隈村大字太田字雪村一三四生れ當時住所不定植木職會田義太郎（四九）は去る三月十日より二十一日迄平町舊城下ラヂウム旅館に止宿蘭を買つて來るからと宿料十一圓を踏倒して逃走、四月中は仲町湯屋營業佐藤義策より萬年青一本價格八圓を蘭と交換してやると稱して持ち去り其の儘行方を晦して居たが昨五日平町を徘徊中平署柏木刑事に檢擧された

豚が昨年の約六割
去月分平の屠畜數

平屠殺場に於ける去月分屠畜數は
牛一七　馬七三　豚一五九
計二百四十九頭で昨年同期に比し牛馬は大差ないが豚に於ては昨年より約二、三割昂騰して居る關係から百三頭減の六割弱に當つて居るがこゝ二、三ヶ月が書入れ時なので漸次增加するであらうと

學校荒しの二人賊
四倉署で逮捕

去る五日午前八時頃草野小學校玄關より星訓導のオーバ（價格三十圓）を竊取逃走した二人組の犯人が四倉方面に入り込んだとの急報により四倉署で手配中大浦村上仁井田海岸に潛伏中を逮捕、取調べの結果右は去月中東京巢鴨刑務所を出所せる前科二犯香具師藤澤直之助（三六）大竹平太郎（三六）と稱し前夜平町七丁目大越屋に宿泊せるものにて尚餘罪多い見込で取調べ中

アサリ罐詰
試驗場で試作

小名濱町水産試驗場では相馬郡松川浦で採取するアサリの加工方法を研究中のところ之れを水煮とした罐詰が一般の嗜好に適するので目下試作中で成績如何により明年度はアメリカ輸出向きの大量生産をなす計劃で年産三十萬圓に達し非常に有望視されてゐる

。。。。。平商服裝檢查　平商校では明七日放課後全校生徒の服裝檢查を行ふ

。。。。。第二研究教授　第二校の尋五研究教授は今六日野原忠見訓導の圖畫を第三四校時に行つた

某小學校教員が賭博で處分さる
教育界議論沸騰

湯本町東町塙信人方止宿某小學校代用教員仁井田二郎（二五）假名―は去る八月夏休みで四倉町の生家に歸省中同月二十七日四倉町大字太夫坂一山本ヒデ方に於て同町新町一八三呉服行商古河清（二八）と骨牌を使用し俗に六百間と稱する賭博をなした廉により昨五日平區香西判事から兩名略式科料十圓を言渡されたが二郎は法政大學法文學部英文科卒業現在兒童を教導すべき教員の身でありながら右の行爲は教育界に喧ましき議論の沸騰を氣遣はれてゐる

。。。。。平商健康相談　平商校の健康相談日は來る八日で準備衛生室に於て市原校醫相談に應ずる

即決件數
平署の去月分

平署扱ひの去月分即決科料は計八十六件で無燈下の三十八件及自轉車二人乘りが最多を占めて居ると

磐炭勞務課〰忘年會の魁〰　磐城炭鑛勞務課では七日午後七時から田町大貞に忘年會を開くが之れが今年度年忘れ會のトップである

。。落磐。　好間村古河炭鑛採炭夫和田新次郎（四二）は四日午後八時頃同鑛第二斜坑で作業中落磐の爲重傷間もなく死亡した、尚同鑛の五十嵐好美（二四）は重傷で目下治療中

匿名の一婦人が投げ出した百圓
非常時打開運動資金に
當局いたく感激

過般行はれた縣主催聯合婦人會女子青年團合同協議會は參會者何れも緊張と靜肅裡に終し誠に意義ある會合であつた事は既報の通りであるがこの程平婦人會及び女子青年團を訪れた一婦人がかうした會は全て金が先に立つものだから少々ですが御役に立たして戴きたいと十圓札十枚の百圓をポンと寄附して行つた篤志の人があり會の主腦當局では寄附者の希望により氏名の發表を避けてゐるが非常時打開女性運動の呼はれてゐる折柄誠に特筆すべき事として當局を感激させてゐる

平商辯論〰大會延期〰　明七日行はれる豫定の平商校辯論部大會は都合で來る十四日木曜日頃に延期音樂部合同盛大に行はれる

電話連接加入
平局受付開始

平局では共同線及び連接加入の申込みを明七日より一週間取扱ふが申請書は適宜申込次第交付し架設場所は本電話架設場所より直徑二丁以内に限られ架設費は共同線は五拾圓加入登記料拾圓計六拾圓連接は四拾圓加入登記料四圓計四拾四圓で一年の使用料は四期に分納するが共同線五拾五圓連接三拾四圓であると

就職良好
平紹介所業蹟

平職業紹介所に於ける去月分動態は（求人）男六八、女一六（求職）男七五、女九で中就職男三十六名、女四名計四十名で昨年に比し求人廿九名、求職十名の何れも增加で地方炭界の好轉から人の動きを占して居る

大に研鑽砥勵し農政の良績を期す
青沼平町長祝辭

別項―濱三郡産業青年協議會に於ける青沼町長祝辭左の如し

祝辭

時恰も收獲の秋であつて五穀瑞穂の國に充ち邊海波靜かにして奥底無盡の富は輝いてゐる、昭和八年十二月六日此の日を期して我が産業青年協議會は産業立國の大旆を擁して祖國愛を強調し奮つて國富增進を策勵す不宵等は之の純情なる叫びを耳にして一は官民の連鎖と彼此の疎通を意圖する上に於て最も有効なりと思考し、且つ共存共榮のモツトーの下に殖産能率の增大と經濟合理化の促進を期待し得るを確信して悅ぶものであります。今や世界經濟戰の鐘は鳴り、難局日本の興廢を擔ふて自彊邁進に努力する青年諸君の意氣は正に舌端火を吐くものがある、其の世界の新潮に正しく備へむ爲めに空論を避け軌道を步み長を採り短を補ひ比較品隴刷新すべき矯正すべきもの品位產額の改良增殖を期し民衆扶掖の實を擧ぐる等、その誘導そられ多難なる祖國は着々とその整齊に最も熱誠あり生彩ある尊むべき諸君の總動員は我々をして大に感奮せしむるものがある。今や農政は齎套を脫して諸般自覺すべき躍進をなしてゐる、而して天與の利益を享受して其の厚生利用の方途は歷々として進步し科學立脚し先覺の躰驗に則り、土の愛護は唱へられ勞力至上は叫ばれて爾來諸君の努力は酬ひられんとしてあるのは何よりも祝すべきことである。惟ふに諸君が農業技術の發達を策し産業振興に奉仕する事は勿論文化の啓發を圖るものであり深厚なる縣當局の助成に俟ちて大に研鑽砥勵を雍かにし先輩の指導に待つて農政翼襄の良績を收め本會をして終始を完ふせられん事を期待して止みません

平町慶弔録

△出生　東京市京橋區新細島西町二丁目一　鎌田町三一昇氏長女悦子さん　仲間町五二宮城縣亘理郡山下村淺生原字上大澤七八兵五郎氏長女昌子さん

△婚姻　八幡少路七九佐藤吉泰（三三）氏上小川村字片石田一六佐藤トシ子（二九）さん

▲死亡　植田町大字仁井田字中目六一田町六八高野千惠子（一八）さん　好間大字北好間字ひい木新川町二六山田シズ子（二六）さん　田町一九双葉郡久の濱町大字久の濱字立一三八橋本うめ（六七）さん

舊十月二十日　木曜　丁未　大安　危　井宿
新十二月七日

賭判定應需　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神讃館

▲一白の人　彌縫策は功を奏せず新規蒔直しを試すべし▲二黒の人　死地に陷るも從容として徐に策を施すべし▲三碧の人　思案に萎れて物事一切手に附かず控へて吉▲四緑の人　物事は斷念が肝じん深入せず損失を見切べし▲五黄の人　けう木は風にたわむ高ければ高き程腰を低めよ▲六白の人　起業開店最良の日なれど急ぐ事には控へよ▲七赤の人　昨日の勞苦は今日の吉慶となる温和を守れ▲八白の人　流言浮設に動かさるゝ日新しき事は最も凶▲九紫の人　融合和樂は益々一家の繁榮を司るものとす

廣告

最も新らしきショールは　中野洋品店　平二・電53
●紳士型　五・五〇　ファー中折帽　特賣

刀劍研磨　白鞘調製　刀劍柄卷　刀劍買入
研師　翠光齋　主　船生四郎　平町十五丁目二六大町通り

外科　全般科　小兒科　内科
醫學博士　渡部義夫
女醫　渡部きい
渡部外科（入院應需）
平町田町大通り（電話二七七）

貸切ノ御用命ハゼヒ三井自動車部へ
乘合は　好間…合戸…澤渡方面行
電話六八五番

別仕立コート
今秋冬の尖端　自然美を機に上せて織なせる卓越せる生地を念入りに仕立ました
三井呉服店　電 3 8 / 2 8 4